

広島市 こうだみつはる 幸田光温氏所蔵文書 仮目録

広島県立文書館

平成 28 年 (2016) 6 月

凡 例

- 1 本目録には、広島市 幸田光温氏所蔵文書を掲載した。
- 2 目録の各項目は次のとおり。

請求記号 本文書群の群番号は (200502) と、この項目の記号を組み合わせたものが請求記号になる。

【例】 1 → 200502/1

表 題 資料に原表題のあるものはそのまま採り、ないものは適宜付与し [] 書きで表記した。

年 代 資料に記された作成年月日を探り、推測した場合は () 書きで表記した。

作 成 資料の作成者・編著者名を表記した。

形 態 資料の形態を記した。

数 量 資料の点数を記した。

備 考 資料の状態等、特に留意すべき点があれば適宜記した。

- 3 文書の配列は請求記号順とした。
- 4 利用の参考のため、本文書群の概要を冒頭に記した。

【文書群概要】

広島市 ^{こうだみつはる}幸田光温氏所蔵文書（請求記号 200502）

山県郡戸河内村の ^{よこごう}横川小学校沿革史（複製）とその解説

出 所 幸田光温

出所地名 広島県山県郡戸河内村横川／広島県山県郡安芸太田町横川[現在地名]

分量 2点（2括）

収蔵までの経緯 平成17年4月2日に幸田光温氏より寄贈。

年代 大正6年（1917）～昭和44年（1969）

歴史 昭和40年ごろ、日教組広島県支部が「僻地教育白書」の編さんを進めた。中国新聞社も当時「中国山地」を連載中で、ともに横川小学校の ^{さいとう ぐんいち}斎藤軍一校長（1884～1964）について取材した。同校は、山県郡戸河内村の1,000m級の山々に囲まれた豪雪地帯にあった学校で、永らく分教場であったが、斎藤軍一の運動により昭和21年に国民学校へ昇格して、昭和44年に廃校となった。中国新聞社はこの「沿革史」を借用して複製を2部作り、1部は中国新聞社が、もう1部は広教祖出版局が保管した。その後、幸田氏は広教組委員長から、焼却するには惜しいから活用するよう要請されて受け取り、これをもとに1983年の「芸備地方史研究大会」で研究報告を行った。自ら聞き取り調査も行っている。

内容 横川小学校の沿革史（複製）と、幸田光温氏によるその解説。「沿革史」という表題だが、実際には日誌の性格が強く、斎藤軍一の教育論が主となっている。

検索手段 「広島県立文書館収蔵文書仮目録」

（2015.11.26 記述／西村 晃）

200502／1

横川小学校沿革史(複製)

(大正 6～昭和44)

斎藤軍一

コピー・1括

B4用紙963枚, 原本は上下2冊

200502／2

〔横川小学校沿革史について〕

平成17 4. 2

幸田光温

括・1括

B4用紙など, 「この写本の存在理由」「斎藤軍一と横川小学校」「横川小学校児童・生徒数年度別一覧」など
